

傍鞍部脳動脈瘤に対する extradural temporopolar approach 施行患者の長期予後に関する研究

## 1. 研究の対象

2009年9月から2017年8月までの間に当院にて傍鞍部脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

我々は傍鞍部脳動脈瘤患者に対しまして安全確実な低侵襲手術を確立するために、硬膜外に前床突起を切除して、視神経、内頸動脈などの重要な腫瘍近傍の解剖学的構造物の位置を手術早期に把握し良好な orientation の下に視神経に対する負荷を最小限に抑制しつつさらに動脈瘤裏側の穿通枝を安全確実に温存できるように extradural temporopolar approach 術を用いた脳動脈瘤クリッピング術を施行しています。今回、当院にて本法を用いて手術を施行した傍鞍部脳動脈瘤患者の神経学的あるいは放射線学的な治療成績に関する検討を、retrospective に行うことを目的としています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術前後の画像所見、合併症の有無、手術前後の神経学的所見など

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

脳神経外科講座 大谷直樹

〒359-8513

埼玉県所沢市並木3-2 防衛医大脳神経外科講座

TEL)04-2995-1511

FAX)04-2996-5207

研究責任者：脳神経外科講座 森健太郎